

## 加盟校生徒の皆さんへ ～ 総体中止に際して ～

令和 2 年 4 月、今世界は新型コロナウイルスの感染拡大の脅威にさらされています。人々の生活は一変し、多くの制約を受けながら、通常の生活ができない毎日が続いています。

県内の高校も臨時休業が続き、部活動もできない状況です。本来であれば、この時期から各地区総体、県総体、そして北信越大会、全国総体と熱い戦いが繰り広げられる予定でした。しかし、残念ながら今夏の全国総体、北信越大会の中止の発表がありました。

県高体連では、皆さんが厳しい練習で培った力を発揮する機会をなくしたくないという思いで、新型コロナウイルス感染拡大の終息を祈りつつ、各専門部を中心に、県総体、地区総体開催の可能性を探ってまいりました。

しかし、感染拡大の終息にはまだまだ時間がかかり、練習もままならない状況での開催には危険が伴うこと、感染のリスクを排除した安全・安心な大会運営を行える状況ではないことから、県総体及び各地区総体の中止という苦渋の決断をいたしました。

大会への期待を抱いていた皆さんの、悔しさ、やりきれない気持ちを考えると心が痛みます。それでも現状では皆さんの命を守るということを最優先にしなければなりません。皆さんには、この現実を受け止めて、これからの自分の進む道を自ら考え、それぞれが自分で決めた次のステップへ前向きなスタートを切ってほしいと願っています。

これまで、今夏の大会を目標に、仲間を尊重しあい、自身の限界に挑戦し、苦しい練習を乗り越えてきた、その事実こそが皆さんの財産であると思います。そうして頑張ってきた皆さんであれば、必ずこの苦境を乗り越え、次のステップへ新たなスタートを切ることができると思います。

新型コロナウイルスの脅威は、我々から当たり前の毎日を奪いました。今、当たり前であったことがどれほど幸せであったか改めて痛感します。この苦境を乗り越えた先には、当たり前の毎日がより幸せに感じられ、更に大きな幸せが必ず訪れるはずです。

訪れる明るい未来を自ら切り拓いていってくれることを心から願っています。

令和 2 年 4 月 3 0 日

長野県高等学校体育連盟  
会長 小林 武広